

ロータリー特別月間

今月：会員増強・新クラブ結成

来月：基本的教育と識字率向上

7月27日例会（ハイブリット開催）

『前年度決算・新年度予算、100%出席者表彰』

<前年度決算> 松本雅史 会計



収入総額 8,062,945 円 (予算比 △806 千円)
支出総額 7,795,869 円 (予算比△1,073 千円)
次年度繰越 267,076 円
会計監査：「正確かつ適正であると認める」
会計監査委員：石 君平、大平敏明

<前年度例会 100%出席者表彰>

菱川健司前年度出席・ニコニコ BOX 委員長

おめでとうございます。

例会 100%出席者（通算年数）

鈴木啓志（24年）、江尻 寛（23年）、
小森勇一（23年）、大高司郎（14年）、
石 君平（16年）、田所和雄（5年）、
鈴木直登（5年）、大河原浩（7年）、
今川 隆（6年）、平野浩司（1年）、
大平敏明（2年）、滝 徳宗（1年）

以上 12 名

<新年度予算> 菱川健司 幹事



収入総額 7,865,046 円 (前年比△1,004 千円)
支出総額 7,865,046 円 (前年比△1,004 千円)
会員 29 名 (前期末比 4 名増) で作成



大河原会長の祝辞

ロータリーの二つの標語「超我の奉仕」と「One Profits Most Who Serves Best」を、まさに体現している方々の表彰だともいえると思います。心から、「おめでとう」を贈ります。特に、何十年と 100%出席を続けている会員には頭が下がる思いです。

前年度決算ならびに新年度予算は、本例会で意義なく承認された。

| 月 日 | プログラム | 担 当 | 7 月 27 日 出席報告 | | |
|----------|------------|------------|---------------|-----|-----|
| | | | 会員数 | 出席者 | 欠席者 |
| 8 月 3 日 | 出前卓話(会員増強) | 会員増強・維持委員会 | | | |
| 8 月 10 日 | 会員増強フォーラム | 会員増強・維持委員会 | 25 | 13 | 11 |
| 8 月 17 日 | 納涼例会 | 親睦活動・家族委員会 | 出席率：100.00% | | |
| 8 月 24 日 | 社会奉仕フォーラム | 社会奉仕委員会 | 前々週訂正：100.00% | | |

事務所：〒318-0033 高萩市本町 2-65
常陽銀行高萩支店内

TEL/FAX：0293-24-0505

■URL：<https://www.takahagirc.jp>

■E-Mail：takahagi-rotaryclub@h7.dion.ne.jp

会 長：大河原 浩
幹 事：菱川 健司

例 会：水曜日 12:30～13:30；第2水曜 7:30～

公共イメージ向上委員会：石平光、小森勇一、大高司郎
石君平、田所和雄、鈴木直登、今川隆、平野浩司、滝徳宗

四つのテスト 言行はこれに 1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか
照らしてから

<会長挨拶>



皆様こんにちは。

今日の会長の時間は、ロータリークラブの公式標語について、少し思うところを、お話ししたいと思います。

ロータリーには公式標語として2つの言葉があります。

一つは「超我の奉仕」、もう一つは「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」です。

ご存じの方もいらっしゃると思いますが、初めて聞く方の為に少しお付き合いください。

この標語の生い立ちは、ロータリーの初期の頃にまでさかのぼります。

まず初めに、1911年、オレゴン州ポートランドで開催された全米ロータリークラブ連合の第2回大会で、「He Profits Most Who Serves Best」がロータリーの標語として承認されました。

これは、前年にシカゴで開かれた第一回ロータリー大会で、ロータリアンのアーサー・フレデリック・シェルドンが行った演説の中で、「他者に対する正しい経営の科学のみが引き合うのだ。経営とは人間的な奉仕の科学である。その仲間中最もよく奉仕する者が最も多く報いられる」と語り、この言葉が元になって、出来上がったとされています。

ポートランドでのロータリー大会は、もう一つの標語「超我の奉仕」が誕生するきっかけにもありました。それは、米国ミネソタ州ミネアポリス・ロータリークラブの会長、ベン・フランク・コリンズ氏が、他人のために尽くす意義と重要性を説き、ロータリークラブは「無私の奉仕 (Service, Not

Self)」を根本精神としなければならないと強調したことに始まります。

その後、この2つの標語は、1950年にデトロイトで開催されたRI国際大会で、「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる (He Profits Most Who Serves Best)」と「超我の奉仕 (Service Above Self)」に修正され、1950年ロータリーのモットーとして公式に採用されました。

その後、1989年の規定審議会において、「超我の奉仕」がロータリーの第一標語として採択され、それ以降、「Service Above Self」はロータリーの第一標語となり、ロータリアンの精神を表す言葉となったわけです。

一方「He Profits Most Who Serves Best」は、2004年規定審議会で「They Profit Most Who Serve Best」に修正され、さらに2010年規定審議会で現在の標語「One Profits Most Who Serves Best」となりました。

これら2つのロータリアンの精神を表す言葉ですが、要は、ロータリーの活動に対して、自己を超えて、多大な献身と犠牲を払うことを惜しまない。そういう生き方をしている会員こそ報われるべき・・・という事なのだろうと私は解釈したのですが、皆様はどうでしょうか？

その上で、本日の例会プログラムは、100%出席者表彰です。

つまりは、皆勤賞の表彰となりますが、言い換えれば、全てのロータリー活動に100%力を尽くしてきた方々を表彰する事、とも言えるわけですし、今お話ししましたロータリーの2つの標語を、まさに体現している方々の表彰だとも言えますが、どうでしょうか？

例会に参加することも、いわばロータリー活動の一部であり、そこに100%力を尽くした証がこの表彰なのだと思います。

故に、私は、心から、「おめでとう」を送りたいと

思いますし、特に、過去何十年と 100%出席を続けている会員におかれましては、頭の下がる思いです。

毎回例会に出席することは、活発なロータリークラブとなるための重要な要素であり、どこのクラブでも 100%の例会への出席が奨励されてきましたが、昨今、RI では出席報告の必要がなくなったりと、出席に対する価値観は変化してきています。ロータリーの多様性の考え方に立てば、会員の中には忙しい会員もいて、その立場も認めることが大切であり、今までのように出席率は求めないということなのでしょうが、100%出席を達成した会員に対しては、今後も表彰を続けることは、必要なのではと思います。

最後に、表彰を受ける会員の皆さん、本当におめでとうございます。

今年も、健康にお気をつけいただき、ロータリー活動を楽しんでいただけたらと思います。

皆さんが、楽しめて、居心地よく感じられるクラブ運営を目指してまいりますので、ご協力のほど、宜しくお願いいたします。

<幹事報告>

1. 米山梅吉記念館研修旅行の報告動画
2. 第 2820 地区の危機管理について
「コロナ感染について注意」

<本年度事業計画>——先週からの続き

(会員組織委員会) 小谷松委員長

1. 会員増強と維持に務め、クラブの会員基盤の充実、発展、成長を図ることを活動の基本
2. 女性会員 2 名
いろいろなプログラムを企画し、クラブの活性化を図り、会員増強に貢献するように活動する。



(青少年奉仕委員会) 平野委員長

1. 少年柔道大会の開催
2. 出前講座「職業の意義と喜び」
3. 萩っ子国際理解フェスティバル
—12月4日第8回英語スピーチコンテスト
4. ライラセミナー、青少年交換事業
5. 高萩市文化協会「こども文化教室・体験講座」への協力
6. ローターアクトの支援



(SAA) 江尻寛 SAA

1. 友好的な雰囲気高める例会場づくり
2. ゲスト、ビジターを会場入り口でお迎えし、隣に座り友情を深める
3. 朝の例会は 7 時 30 分点鐘開会、8 時 30 分閉会点鐘
4. 通常例会はハイブリット方式で開催
5. 例会時の服装基本はネクタイジャケット着用。ただし、5 月から 10 月はクールビズ期間
6. 友愛コーナーを設置し、着席位置等を工夫



<研修会出席報告>

(地区青少年奉仕研究会) 平野青少年奉仕委員長

- 7月24日ホテルテラス・ザ・ガーデン水戸で開催
1. インターアクトクラブの活動報告
(水城高校、茨城キリスト教学園高校、水戸女子高校、水戸農業高校、つくば国際大学東風高校、下館工業高校の 6 高校)
 2. ライラセミナー：3月11/12日「つくばふれあいの里」で開催
 3. 青少年交換 2022~23年度は8月からアメリカ・タイの2名受入れと派遣
 4. RAC 地区代表 吉川佳佑 (つくば学園 RAC)
現在 8 クラブ 45 名。会員増強について
 5. 環境美化フォトコンテスト案内
事業：地区補助金事業で、国内外で募集
受付期間：8月1日~10月31日

(地区国際奉仕研究会) 小森勇一国際奉仕委員長
7月23日ハイブリット方式で開催

- 2022~23年度「この指止まれ」提唱3クラブ
* 結城 RC タイの子供たちへランドセル
* 下館 RC・日立 RC ネパールの子供たちへの就学支援
* しもだて紫水 RC フィリピンの子供たちへペンシルプロジェクト
- グローバル補助金(中村国際奉仕支援アドバイザー)——当地区はタイ、フィリピン、ネパールの友好地区とのプログラム
- 国際親善奨学金
現在1名アメリカジョージタウンで「世界平和と国際政治学」を学習(スポンサーはつくば学園 RC)、本年度も1~2名を予定。優秀な学生の推薦依頼



<高萩にボーイスカウトを設立する動き>
今川 隆 会員



高萩の中戸川に大和の森「高萩スカウトフィールド」が平成29年8月にオープンした。

近隣の日立や北茨城には、ボーイスカウトがあるが、現在高萩にはない。

茨城県のボーイスカウト連盟の理事の方からの接触もあり、ボーイスカウト高萩団の復活を目指す動きがあり、私は一市民として会議に参加している。

1947年に高萩子供会連合会の要請を受け。高萩 RC、高萩 LC や青年会議所等が中心になりボーイスカウトを設立した。

1949年7月茨城国体の直前に高萩第一団が発足し、翌年に日本連盟に登録し、私が子供の頃は活動していた。

今後、ボーイスカウトを復活させるために、発起人の会を作り、育成会を設立する。

高萩ロータリーとしても、大河原会長を中心に前向きに検討していただきたい。

【メイクアップ】

7/23 国際奉仕研究会

小森勇一、大高司郎

7/24 青少年奉仕研究会

大高司郎、平野浩司

【ニコニコ BOX】

大高司郎さん：明秀日立の健闘を祈ります。

大平敏明さん：週末には3年ぶりの高萩まつり。どのような雰囲気になるか。楽しみと心配半々です。

大河原浩さん：暑い日が続いております。体調にお気を付けてお過ごし下さい。

小森勇一さん：夏土用、暑さとコロナを乗り越えましょう。

石君平さん：「予算・決算、100%出席者表彰」の例会です。100%出席者おめでとうございます。

小谷松政紀さん、江尻寛さん、今川隆さん、菱川健司さん、平野浩司さん、滝徳宗さん

本日計 8,000円

累計 90,000円

【ロータリー財団】

本日計 0円

累計 220,470円

【ポリオプラス】

本日計 2,000円

累計 22,540円

【米山記念奨学会】

本日計 0円

累計 104,000円

<本日のハイブリット例会>

オンラインで出席 鈴木直登会員

月の家の会議室出席 大河原会長他12名

